

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 5 巻第 50 号

第 50 週 ( 12 月 12 日 ~ 12 月 18 日 )

発行年月日:平成17年(2005年) 12 月 22 日

発行 行 :滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 今週の感染症動向

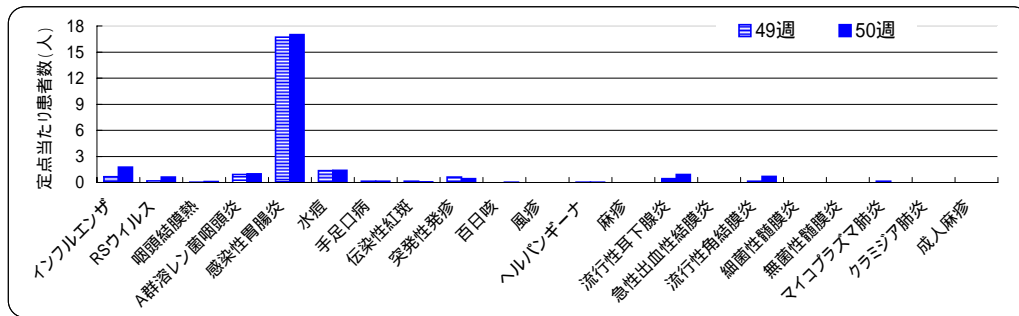
#### インフルエンザウイルスA香港型の検出 RSウイルス感染症の発生は急増

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(12月5日～12月11日)の報告数よりかなり多くなっています。今週、増加を示した疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等で、減少した疾患は伝染性紅斑、突発性発しんおよびマイコプラズマ肺炎です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

また、インフルエンザについては、平成17年12月9日に採取されたうがい液から**インフルエンザウイルスA香港型(インフルエンザAH3型)**が検出されました。県内における今冬のインフルエンザウイルスA香港型の検出は今回が初めてであり、今後、県内で流行する可能性があるため注意が必要です。

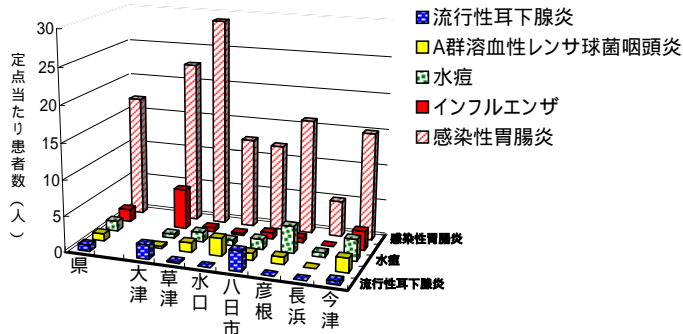
今週は全数報告感染症の届出はありませんでした。

#### 定点把握の対象となる5類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)

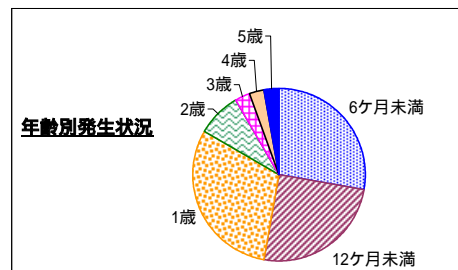
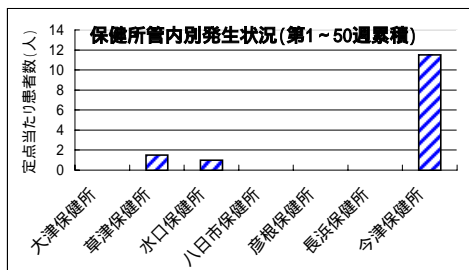


#### 上位5疾患の保健所管内別発生状況(定点把握対象5類感染症、第50週、定点当たり患者数)

県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおりで、感染性胃腸炎、インフルエンザ、水痘、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性耳下腺炎の順に多く発生しています。  
インフルエンザは大津で急増し、感染性胃腸炎は草津および水口で先週よりかなり増加しています。



#### RSウイルス感染症の発生状況(平成17年第1～50週)



## 1) 全数報告の感染症(1類～5類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (50週)	累積報告数		平成16年報告数	
			滋賀 (50週)	全国 (50週)	滋賀	全国 <sup>(*)</sup>
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	<sup>(*)</sup> 7	542	9	576
	腸チフス	0	0	49	2	66
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	12	3,523	21	3,640
4類感染症	E型肝炎	0	0	<sup>(*)</sup> 39	1	34
	A型肝炎	0	1	<sup>(*)</sup> 163	0	136
	オウム病	0	1	33	1	39
	デング熱	0	1	71	2	45
	マラリア	0	0	65	2	73
	レジオネラ症	0	3	268	0	162
5類感染症	アメーバ赤痢	0	5	659	8	580
	ウイルス性肝炎	0	2	266	5	299
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	145	0	167
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	55	1	53
	後天性免疫不全症候群	0	7	1,106	6	1,119
	ジアルジア症	0	0	78	2	85
	梅毒	0	0	525	4	516
	破傷風	0	0	111	2	100
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	2	63	0	49
	急性脳炎	0	2	<sup>(*)</sup> 169	1	164

\* 1: 平成16年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。

\* 3: 平成17年第48週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - iDWR2005年第48週、11/28～12/4より -

1類感染症: 報告なし	4類感染症: 日本脳炎 1例	5類感染症: 急性脳炎 3例
2類感染症: コレラ 3例	デング熱 1例	ウイルス性肝炎(B型) 1例
細菌性赤痢 10例	A型肝炎 2例	後天性免疫不全症候群 16例
腸チフス 2例	エキノコックス症 1例	劇症型溶血性
パラチフス 2例	コクシジオイデス症 1例	レンサ球菌感染症 2例
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 27例	レジオネラ症 6例	バンコマイシン耐性
4類感染症: つつが虫病 21例	5類感染症: アメーバ赤痢 6例	腸球菌感染症 2例
	梅毒 9例	

## 2) 定点把握の対象となる5類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

\* 疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(第45～50週、11/7～12/18)

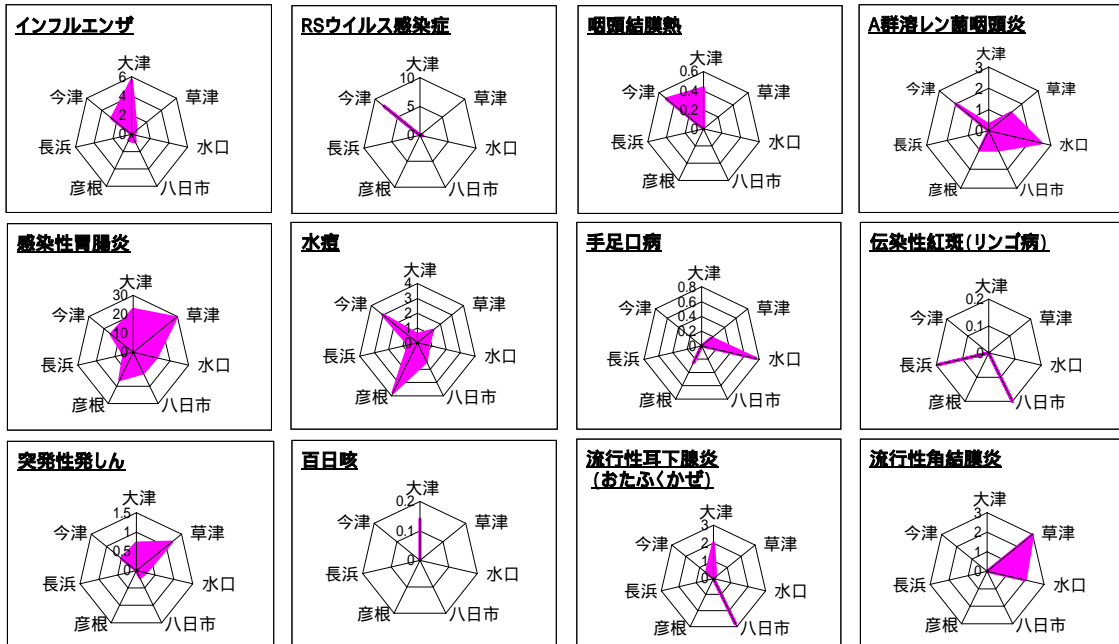
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	45週		46週		47週		48週		49週		50週	
	(11/7～)	11/14～	11/21～	11/28～	(12/5～)	12/12～	46	47	48	49	50	
インフルエンザ	0	0.04	0.06	0.16	0.65	1.76						
RSウイルス感染症	0	0	0	0.06	0.18	0.62						
咽頭結膜熱	0.27	0.30	0.12	0	0.03	0.12						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.33	0.42	0.67	0.85	0.91	1.00						
感染性胃腸炎	8.03	12.12	13.18	18.00	16.73	17.00						
水痘	0.73	0.82	0.97	1.36	1.36	1.39						
手足口病	0.15	0.48	0.48	0.27	0.15	0.15						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.06	0.06	0.06	0.15	0.06						
突発性発しん	0.67	0.39	0.42	0.61	0.64	0.45						
百日咳	0.03	0.09	0	0	0	0.03						
風しん(三日はしか)	0	0.03	0.03	0	0	0						
ヘルパンギーナ	0	0	0.03	0.06	0.03	0.03						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.61	0.48	0.61	0.67	0.45	0.91						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.14	0.43	0.57	0.29	0.14	0.71						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0.14	0						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第50週、12/12~12/18)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	1.76	5.64	0.60	0.29	0.88	0.71	0	2.67	■
RSウイルス感染症	0.62	0	0.33	0.50	0	0	0	8.00	■
咽頭結膜熱	0.12	0.43	0	0	0	0	0	0.50	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.29	1.33	2.50	1.00	1.00	0	2.00	■
感染性胃腸炎	17.00	22.57	29.00	12.50	12.00	16.00	5.00	15.00	■
水痘	1.39	0.57	1.33	0.75	1.40	3.75	0.60	3.00	■
手足口病	0.15	0	0.17	0.75	0	0.25	0	0	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0	0	0.20	0	0.20	0	■
突発性発しん	0.45	0.71	1.17	0.25	0.20	0	0	0.50	■
百日咳	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	■
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	■
ヘルパンギーナ	0.03	0	0	0.25	0	0	0	0	■
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	■
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.91	2.00	0.17	0	2.80	0	0	0.50	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
流行性角結膜炎	0.71	0	3.00	2.00	0	0	0	0	■
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	■
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	■

0 3 6 9 12 15 18  
定点当たり患者数(人)

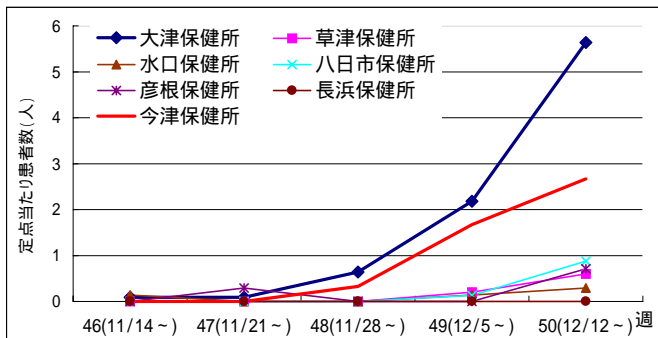
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。インフルエンザは大津で、RSウイルス感染症は今津で多く発生しています。A群溶レン菌咽頭炎は水口で先週よりかなり多くなっており、流行性耳下腺炎は大津および八日市で多くなっています。また、上記のグラフには示されていませんが、ヘルパンギーナは水口から報告されています。

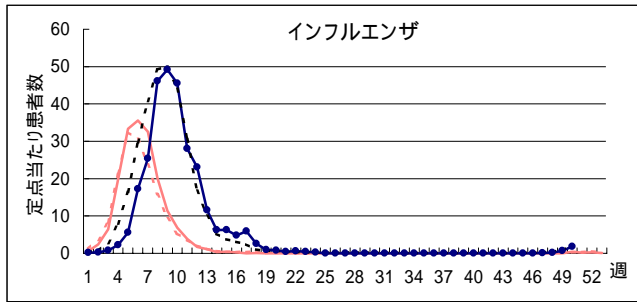
インフルエンザの保健所管内別発生状況(第46~50週、11/14~12/18)



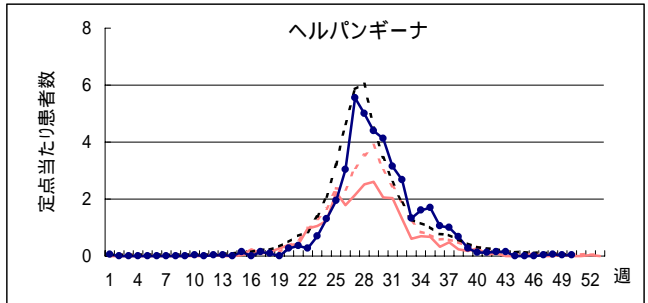
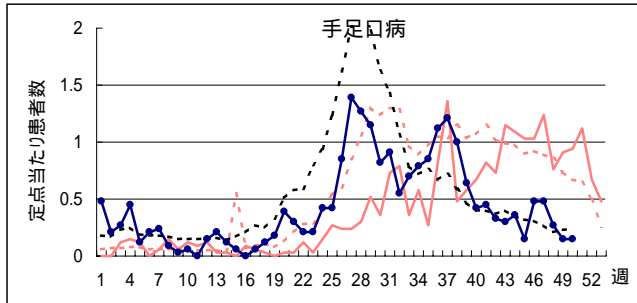
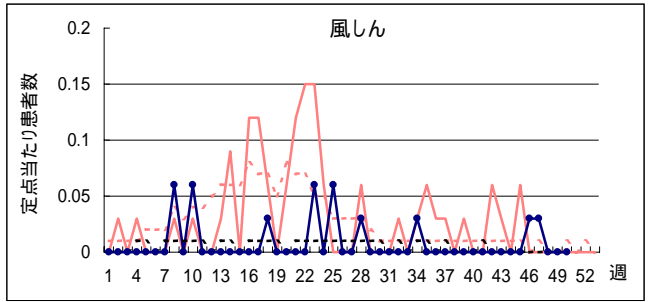
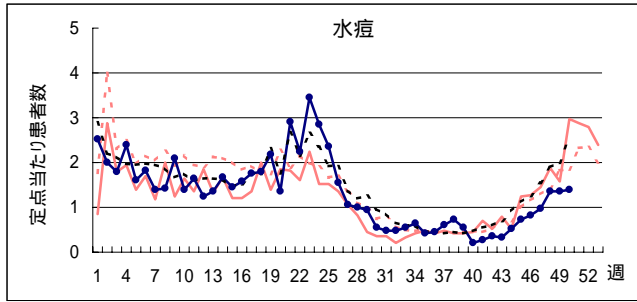
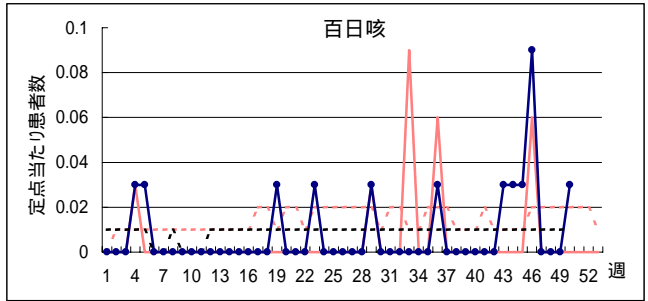
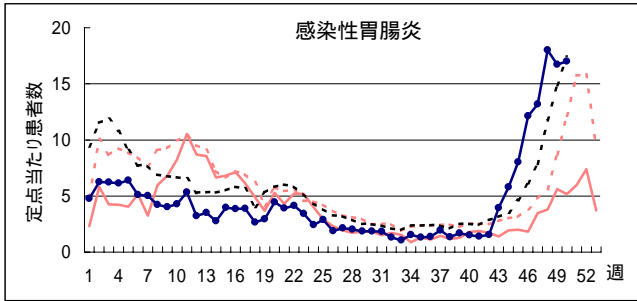
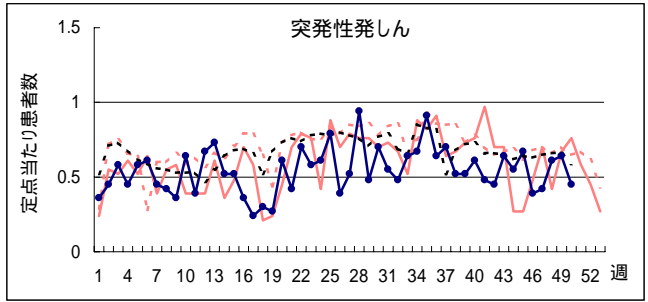
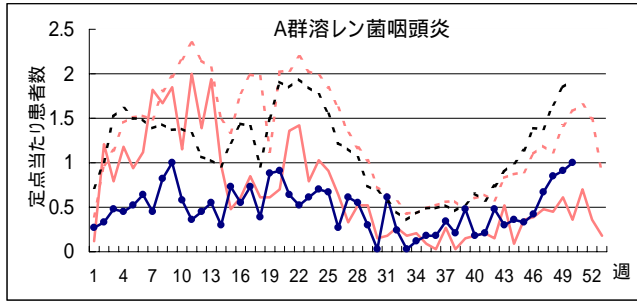
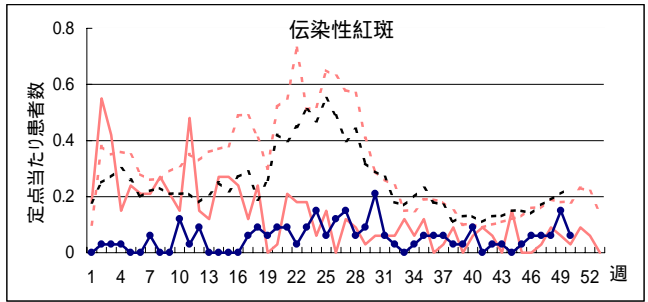
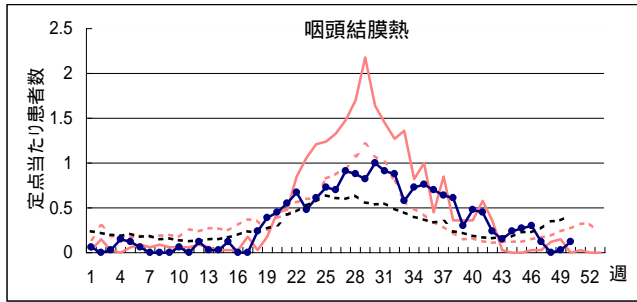
第46~50週の発生状況についてみると、大津および今津保健所管内では第48週から増加し始め、他の保健所管内では第49週から増加しています。

また、年齢別の発生割合は、6ヶ月未満0.7%、12ヶ月未満0.7%、1歳5.9%、2歳6.6%、3歳11%、4歳14.7%、5歳14.7%、6歳12.5%、7歳11.0%、8歳0.7%、9歳2.2%、10~14歳2.2%、15~19歳1.5%、20~60歳13.2%、60~69歳0.7%、80歳以上1.5%となっています。

疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第50週、H17.1.3～H17.12.18)



H16 { 滋賀 ————  
       全国 ······  
 H17 { 滋賀 —●—●—  
       全国 ······



# 疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第50週、H17.1.3～H17.12.18)

H16 〔 滋賀 ———— 全国 ..... 〕  
 H17 〔 滋賀 ●——● 全国 ..... 〕

